

脳神経内科

a. 体制

北野病院脳神経内科は日本神経学会認定教育施設であり、精神疾患を除くすべての中枢神経疾患、末梢神経疾患、筋疾患の診療を行っている。

脳血管障害については脳神経外科と共同で脳卒中センターを構成し、脳卒中学会専門医が24時間体制で脳卒中患者の診断・治療を行っている。緊急患者に対しては夜間や休日でも頭部MRIが撮影できる体制にあり、発症4.5時間以内の急性期脳梗塞に対する血栓溶解療法(t-PA治療)も適応を厳密に判断した上でを行い、血栓溶解療法無効例に対してはカテーテルによる血管内血栓除去療法を脳卒中センターで施行している。

神経難病患者については、パーキンソン病、多発性硬化症、重症筋無力症などの患者受診数が関西で最も多い施設のひとつである。

パーキンソン病についてはドパミン補充などの薬物療法に加えて、刺激発生装置や薬剤注入ポンプを用いるデバイス補助療法をおこなっている。脳神経外科と共同で手術的治療（視床下核や淡蒼球に対する深部脳刺激術DBSなど）、本態性振戦に対してMRIガイド下集束超音波治療(MRgFUS)を施行している。内服治療を工夫しても一日の薬効が不安定な症例に対しては消化器内科と共同で胃瘻を造設し、経腸ゲル化レボドパ持続注入療法(LCIG)を行っている。

重症筋無力症については呼吸器外科と協力して手術適応例について胸腺・胸腺腫摘出術を行い、薬物治療をおこなっている。

筋疾患に関しては、針筋電図検査や筋生検を施行し、適切な治療をおこなっている。

さらに認知症、てんかん、慢性頭痛の診断や治療、末梢神経免疫疾患(ギランバレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発神経炎CIDPなど)に対する免疫グロブリン療法などを施行し、多岐にわたる神経疾患の治療で効果を上げている。

医学研究所では神経変性疾患の分子病理学的研究、パーキンソン病における薬物治療とデバイス補助療法の予後比較、非運動症状に対する薬物治療効果の検討を行っている。

主任部長兼神経センター副センター長

高橋牧郎

副部長

小松研一

副部長

宮本将和

副部長

樽野陽亮

副部長
古川公嗣

専攻医
新美完

専攻医
辻村敦史

専攻医
太田和馬

専攻医
松本佳己

専攻医
森内俊達

b. 診療実績

2022 年度入院患者数 822

疾患別の内訳

疾患名	入院患者数
脳血管障害	148
認知症	29
パーキンソン病・関連疾患	221
筋萎縮性側索硬化症	14
脊髄小脳変性症・多系統萎縮症	27
重症筋無力症	22
多発性硬化症・視神経脊髄炎	26
髄膜炎	31
脳炎	17
末梢神経疾患	36
筋疾患	5

c. 学会・講演・著作その他の研究活動

【学会】

- 1 松本佳己、小松研一、森内俊達、太田和馬、辻村敦史、野村倫子、古川公嗣、樽野陽亮、宮本将和、高橋牧郎 子宮腺筋症に対する偽閉経療法中に発症した可逆性脳血管攣縮症候群の一例 日本神経学会第 122 回近畿地方会. 2022/7/30. (大阪)
- 2 小松研一 自分で治せる頸椎症 ～生活環境の変化で発症した頸椎症性神経根症の 3 例～ 第 63 回日本神経学会. 2022/5/21. (東京)
- 3 玉城駿介、武信洋平、尾崎彰彦 腰痛を伴い下肢進展挙上試験で疼痛を生じた両下肢脱力の一例 第 114 回大阪神経内科の集い. 2022/11/9. (大阪)
- 4 玉城駿介、武信洋平、野村倫子、河原宏紀、吉岡聡、武部克希、今村大智、王晨堯、池田一俊、山川健太郎、今田和典、尾崎彰彦 造血幹細胞移植を行った小脳脳幹型副腎白質ジストロフィーの一例 第 63 回亀山正邦記念神経懇話会. 2022/12/4. (京都)
- 5 森内俊達、高橋牧郎 片頭痛の既往があり、降雪視を認めた 16 歳男性の一例 第 50 回日本頭痛学会総会. 2022/11/25. (東京)
- 6 森内俊達、樽野陽亮、高橋牧郎 アメナメビルで治療後に水痘帯状疱疹ウイルスによる神経症状をきたした 3 症例の検討 日本神経学会第 124 回近畿地方会. 2023/3/5. (大阪)
- 7 Furukawa K, Tsujimura A, Komatsu K, Nakagawa T, Miyamoto M, Oka Y, Niimi K, Sakurai Y, Ueda A, Sakai R, Takahashi M. Clinical characteristics of early and late onset neuromyelitis optica spectrum disorder 第 63 回日本神経学会学術大会. 2022/5/18～21. (東京)
- 8 辻村敦史、松本佳己、森内俊達、太田和馬、玉城駿介、古川公嗣、樽野陽亮、宮本将和、小松研一、高橋牧郎 二次性進行型多発性硬化症 (SPMS) の経過中に、進行性多巣性白質脳症 (PML) を併発した症例の検討 ～画像所見と臨床経過の考察～ 第 62 回 亀山正邦記念神経懇話会 (KSK). 2022/6/18. (大阪)
- 9 辻村敦史、松本佳己、森内俊達、太田和馬、玉城駿介、古川公嗣、樽野陽亮、宮本将和、小松研一、高橋牧郎 右下肢の動かしにくさ・歩行障害を呈した、34 歳男性の一例 第 63 回 亀山正邦記念神経懇話会 (KSK). 2022/12/4. (京都)
- 10 辻村敦史、松本佳己、森内俊達、太田和馬、玉城駿介、古川公嗣、樽野陽亮、宮本将和、小松研一、高橋牧郎 右下肢の動かしにくさ・歩行障害を呈した、34 歳男性の一例 第 143 回 大阪脳神経内科の集い. 2022/7/6. (大阪)
- 11 辻村敦史、松本佳己、森内俊達、太田和馬、玉城駿介、古川公嗣、樽野陽亮、宮本将和、小松研一、高橋牧郎 複視や顔面・四肢の感覚障害など多彩な神経症状を呈した 68 歳女性 第 144 回大阪脳神経内科の集い. 2022/11/9. (大阪)
- 12 辻村敦史、松本佳己、森内俊達、太田和馬、玉城駿介、古川公嗣、樽野陽亮、宮本将和、小松研一、高橋牧郎 頭痛、複視が主訴の 60 歳男性 第 28 回北野病院大阪赤十字病院富永病院合同神経内科カンファレンス. 2023/1/30. (大阪)
- 13 太田和馬、古川公嗣、松本佳己、森内俊達、辻村敦史、玉城駿介、樽野陽亮、宮本将和、小松研一、高橋牧郎 振戦と歩行障害で発症した抗 MAG 抗体関連ニューロパチーの一例 日本神経学

会第 123 回近畿地方会. 2022/12/17. (大阪)

- 1 4 太田 和馬、古川 公嗣、松本 佳己、森内 俊達、辻村 敦史、玉城 駿介、樽野 陽亮、宮本 将和、小松 研一、高橋 牧郎 振戦と歩行障害で発症した抗 MAG 抗体関連ニューロパチーの一例 神経疾患を語る会. 2022/10/4. (大阪)
- 1 5 杉山純平、澤田眞寛、羽生敬、山下成仁、吉崎航、元家亮太、武部軌良、箸方宏州、石橋良太、林英樹、西田南海子、戸田弘紀、岡佑和、樽野陽亮、高橋牧郎. パーキンソン病に対する STN-DBS の再調整例における刺激範囲の評価. 日本定位・機能神経外科学会プログラム・抄録集 62 回 Page125(2023. 01)
- 1 6 西田南海子、北村和士、杉山純平、吉崎航、羽生敬、山下成仁、元家亮太、澤田眞寛、樽野陽亮、西太郎、大島美希、石守崇好、佐竹裕輝、高橋牧郎、戸田弘紀. 振戦治療を極める-MRgFUS、温熱凝固術、DBS-MRI ガイド下集束超音波治療における視床の非対称性の影響. 日本定位・機能神経外科学会プログラム・抄録集 62 回 Page70(2023. 01)
- 1 7 池田一俊、武信洋平、玉城駿介、野村倫子、長谷部祥子、辻雄太、山川健太郎、高橋牧郎. 左鎖骨下動脈コイル塞栓術後の盲端部が塞栓源と考えられた右小脳梗塞の一例. 臨床神経学(0009-918X)62 巻 11 号 Page882(2022. 11)
- 1 8 高橋牧郎. 進行期 PD で問題となる症状; 姿勢異常と歩行障害、精神・認知機能障害. 第 16 回日本パーキンソン病運動障害学会 教育セッション 1、2022、(東京)
- 1 9 高橋牧郎. パーキンソン病の病態とステージに応じた治療戦略: MAOB 阻害薬を中心に. 第 122 回日本神経学会近畿地方会、2022/7/30、(大阪)
- 2 0 高橋牧郎. 片頭痛を科学する: 頭痛発作の時にあなたの体で何がおこっているのか? 第 2 4 回富永病院頭痛教室、2022/9/4、大(大阪)
- 2 1 高橋牧郎. たかが便秘、されど便秘: パーキンソン病における脳腸連関の重要性. 大阪市北区薬剤師会生涯教育毛集会、2022/10/15、(大阪)
- 2 2 高橋牧郎. パーキンソン病運動症状に対する治療: 早期運動症状に対する治療. 第 12 回 MDSJ 教育研修会、2023/2/12、(松山)

【論文】

(原著論文)

- 1 Furukawa K, ..., Taruno Y, ..., Sawamoto N*. Motor Progression and Nigrostriatal Neurodegeneration in Parkinson Disease. *Ann Neurol*. 92(1):110-121, 2022. (査読あり)
- 2 Koh K, ..., Takahashi M, Chédiak-Higashi syndrome presenting as a hereditary spastic paraplegia. *J Hum Genet*. 2022 Feb;67(2):119-121. (査読あり)
- 3 Takahashi M, Safety and effectiveness of istradefylline as add-on therapy to levodopa in patients with Parkinson's disease: Final report of a post-marketing surveillance study in Japan. *J Neurol Sci*. 2022 Dec 15;443:120479. (査読あり)
- 4 Takahashi M, Efficacy and safety of istradefylline in patients with Parkinson's disease presenting with postural abnormalities: Results from a multicenter, prospective, and open-label exploratory study in Japan. *J Neurol Sci*. 2022 Jan

15;432:120078. (査読あり)

- 5 北村和土, 元家亮太, 西田南海子, 杉山純平, 吉崎航, 西太郎, 大島美希, 坂田夕夏, 松浦美咲, 佐竹裕輝, 辻本実奈美, 甲斐太陽, 則政里沙, 奥村亮介, 高橋牧郎, 戸田弘紀. 本態性振戦に対する MR ガイド下集束超音波治療後早期の治療効果変動と 6~12 ヶ月後の治療効果. 脳神経外科ジャーナル(0917-950X)31 巻 10 号 Page639-646(2022. 10) (査読あり)

(総説)

- 1 高橋 牧郎 【令和の頭痛診療-プライマリ・ケア医のためのガイド】片頭痛と認知症
Medicina(0025-7699)59 巻 13 号 Page2366-2368(2022. 12) (査読なし)
- 2 高橋 牧郎 【「頭痛の診療ガイドライン 2021」 準拠 ジェネラリストのための頭痛診療マスター】(第 3 章)頭痛関連トピックス Q&A(Q12) 片頭痛の新しい治療薬 gepant, ジタンはどの程度効果があるか?(Q&A) jmed mook82 号 Page164-165(2022. 10) (査読なし)
- 3 高橋 牧郎 片頭痛発作誘発因子(一酸化窒素供与体、カリウムチャネル開口薬、アミリンアナログ) 第 50 回 日本頭痛学会総会シンポジウム 8 あらためて考える片頭痛病態、2022. 11. 26, 東京(査読なし)
- 4 高橋 牧郎 パーキンソン病と中枢性疼痛 -ドパミンの意義を考察する- Parkinson's disease and central pain: -Consider the role of dopamine- 第 50 回 日本頭痛学会総会ランチョンセミナー 8、2022. 11. 25, 東京(査読なし)
- 5 高橋 牧郎 【COVID-19-脳神経内科医が診るための最新知識 2022】-COVID-19 神経合併症 運動異常症 update-COVID-19 感染症で見られる失調症, 不随意運動症, 発作性運動異常症. BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩(1881-6096)74 巻 7 号 Page0861-0866(2022. 07) (査読なし)
- 6 高橋 牧郎. 進行期 PD で問題となる症状 姿勢異常と歩行障害、精神・認知機能障害パーキンソン病・運動障害疾患コンgresプログラム・抄録集 16 回 Page64(2022. 07) (査読なし)
- 7 高橋 牧郎 【片頭痛診療のパラダイムシフト】頭痛診療の新たな拠所 「頭痛の診療ガイドライン 2021」の概要 薬剤使用過多による頭痛. Clinical Neuroscience(0289-0585)40 巻 5 号 Page657-658(2022. 05) (査読なし)
- 8 高橋 牧郎 【1 ページでわかる内科疾患の診療ノート-"あたりまえ"のなかにある大事な視点】(第 8 章)神経 良性発作性頭位めまい症. 内科(0022-1961)129 巻 4 号 Page939-943(2022. 04) (査読なし)
- 9 高橋 牧郎 【パーキンソン病診療 Up date】 治療 パーキンソン病に伴う感覚症状への対応. クリニシアン(0387-1541)69 巻 2 号 Page184-190(2022. 02) (査読なし)
- 10 高橋 牧郎 【今日の治療指針】 私はこう治療している. 神経・筋疾患 ミオクロノス. Page 964-965, 医学書院、東京、2023 (査読なし)
- 11 高橋 牧郎 私の治療 2023-24 年度版. 神経筋疾患. 54. けいれん 日本医事新報、2022 (査読なし)
- 12 高橋 牧郎 頭痛治療薬の考え方、使い方 第 3 版、中外医学社、2023 (査読なし)

(症例報告)

- 1 今中翔平, 小松研一*, 岡佑和, 高橋牧郎. 虚血性視神経症にて発症した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の1例. 臨床神経 2022 62 巻 P481-486 (査読あり)
- 2 上田明広, 小松研一*, 高橋牧郎. ドネペジル塩酸塩の関与が疑われた体幹姿勢異常の2例. 臨床神経 2023 63 巻 P85-91 (査読あり)
- 3 Shiba H, Furukawa K, Tamaki S, Takahashi M*. Triple furrowed tongue in myasthenia gravis. *QJM*. 2023 Mar 15:hcad035. doi: 10.1093/qjmed/hcad035. Epub ahead of print. PMID:36919764. (査読あり)

【研究】

- 1 パーキンソン病患者におけるL-ドパ/DCI 配合剤治療へのセレギリンあるいはゾニサミドの上乗せ効果に関する無作為化比較第Ⅱ相試験 (jRCT 登録番号: jRCTs051180098)
(高橋牧郎)
- 2 撮像データに基づく、パーキンソン病患者の姿勢障害に対するイストラデフィリンの影響の検証 (APIS-J 後ろ向き観察研究)
(高橋牧郎)
- 3 パーキンソン病患者の振戦に対するMRgVim-FUSの適応評価、有効性・安全性の解析研究
(高橋牧郎、樽野陽亮、新美 完、小松研一、古川公嗣、宮本将和)
- 4 パーキンソン病に対する脳深部刺激療法の適応基準と認知機能、精神状態への影響に関する検討
(高橋牧郎、樽野陽亮、新美 完)
- 5 パーキンソン病に対するDAT (Device Aided Therapy: DBS, FUS, LCIG) の適応評価と有効性、安全性に関する研究
(高橋牧郎、樽野陽亮、新美 完、小松研一、古川公嗣、宮本将和)
- 6 パーキンソン症状を呈する入院患者の臨床像に関する検討
(古川公嗣、高橋牧郎、樽野陽亮、小松研一、新美 完、宮本将和)
- 7 パーキンソン病患者におけるイストラデフィリンのジスキネジア発現に対する臨床研究
(小松研一、高橋牧郎、樽野陽亮、古川公嗣、宮本将和、新美 完)
- 8 神経内科診療における精神科連携の意義の検討
(小松研一)